

2014/4/25

横浜市立市ヶ尾中学校 学校だより Vol. 53

市ヶ尾中Times

5月号

ほぼ毎日更新！→<http://www.cms-school.jp/ichigao>

ID「ichigao」 パスワード「jiritsukoken」

<学校教育理念>

自立貢献

～Live your dreams～
夢を生きよう

発行者：校長 平川理恵

市ヶ尾中 Tel 045-973-3400

より良い市ヶ尾中を目指して

校長 平川理恵

市ヶ尾中学校の新2・3年生の10人とNHKスタジオへマイケル・サンデル白熱授業「これからの学校の話をしよう」の収録に行ってきました。

“良い学校”とはどんな場所なのか？学校ってなんだろう？世の中が目まぐるしく変化していく中で、学校はどう変わっていくべきか？市ヶ尾中を含め、4校の中学生39人とタレントゲスト（井筒和幸さん、道端カレンさんなど）と共に、米ハーバード大学のマイケル・サンデル教授がファシリテーターとなって議論を交わします。

合計約4～5時間にも及んだ収録時間の中から、番組でどのように編集されるかはわかりませんが、内容としてはIT技術を使った個々に応じた学習がどのように進んでいるのか？アメリカのチャータースクールに代表されるような教育に競争原理を取り入れることの是非、先生の役割はどう変わっていくのか？等が議論されました。収録前日に校内でちょっと議論の練習をしたのですが、その中でみんなが市ヶ尾中のよいところをたくさん挙げてくれました。

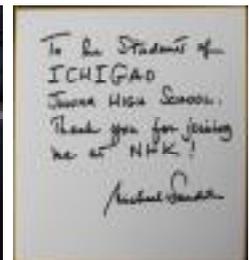
「行事等、みんなでやるということで学べることが多い。また小学生の時のように細かく指示されるのではなく自主性を大事にしてくれるところがいい。」「生徒会・委員会活動などは、責任感を持つことや、社会に出てからの組織のあり方を学んでいる。」「人権特設で様々な違う生き方を学べるところがいい。」「道徳の時間等で、正解・不正解ではない意見の交換ができるところがいい。」「授業で少人数教室や、ティームティーチングなど、わからないところが聞きやすい。」などがありました。また、こうなってくれるとよりよくなると思う部分に、「先生が一方向的に説明するだけや、問題を解くだけではなく、議論のある授業は面白い。」「生徒同士が教え合う場面が増えると、教えるほうも教わるほうも学べるのでは？」という意見もありました。

先進的な技術を駆使した教育が注目される中でも、不易流行の不易の大切な部分をむしろ子どもたちのほうがその良さをよく分かっていると感動しました。より良い市ヶ尾中学校になるべく教職員一同努力していきたいと思えます。さまざまご意見をいただけますようお願いいたします。

マイケルサンデル教授、直筆サイン↑



↑収録後、マイケルサンデル教授と記念撮影



<放送> NHK BS1 2014年4月27日(日) 夜19:00～20:50 *途中10分のニュース有



おジャマします。授業拝見。

へんなたとえかかもしれませんが、学校の主力商品は授業。私（平川）も、授業を見学させてもらっています。今回は、この4月に着任された先生の中からお二人の先生をご紹介します。

理科・園山敦也先生



第1年学年主任：園山先生

1年生の理科では「花のつくりとはたらき」という単元で、アブラナ、ツツジ、タンポポなど、被子植物に共通する花のつくりや違いを観察しています。がく→花卉→おしべ→めしべの順に花を分解してプリントにセロハンテープで貼り付け、めしべの子房をカミソリで切り、ルーペで中の様子をみてみます。そして気づいたことや疑問をまとめていきます。

1人ひとりの生徒を回り、気づいたことの良いところを赤線を引き、「まるまる！」とその場で赤ペンする園山先生。その、まるや強調線を見て、周りも「そうか！そう書くんだった！」と生徒同士学び合っています。さらに生徒の表現を促せるよう質問や、「いいね！これ！」と声をかけられます。

園山先生に理科を勉強する意義について伺いました。「入試やテストという現実的な目標はありますが、自然に対して、素晴らしいとかよくできているなあと感動し・・・今回の植物の観察なんかもそうですが、手に触れてみて、気づいて、感じて、そして大切に思う気持ちが理科という教科を通して育ってくれればと思う」と園山先生。ルーペを使って観察→



英語科・栗原美奈子先生

3年生の英語の授業におジャマしました。さすが栗原先生は、「言語活動」の授業の研究に熱心だけあって、授業の最初からどんどん生徒の手が挙がります。「修学旅行でどこにいきますか？」「その金閣寺は誰が建てたの？」「広島のお土産はどんな有名なものがありますか？」金閣寺の写真などを使い、生徒の会話のイメージも膨らみます。

実はお邪魔した6時間目。この日1時間目に引き続き2回目の授業でした。授業数確保のためスライド形式にしているので、こういう日も出てきてしまいます。そんなときは生徒たちを飽きさせないように、先生がひと工夫。手作りのカードを使って現在形・過去形・過去分詞・現在進行形の4つの動詞カードでゲーム。私(平川)も班に入らせてもらい、生徒の皆さんと一緒に楽しませてもらいました。



3年進路主任：栗原先生

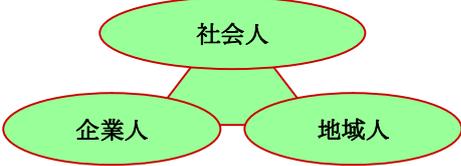
英語を学ぶ意義を栗原先生に伺いました。「私自身、英語を学ぶことによって・・・自分と違うものに出会うことで、自分がより深まる体験をしました。必ずしも欧米化するというわけではなく、英語を学ぶことによって自分と違うものを受け入れるという大切さを学んでほしいです。」と栗原先生。



←カードを使ってグループ活動に盛り上がる。

「社会と学校のかけ橋」=キャリア教育、推進中！

通常の授業の中に、ゲストスピーカーや外部講師をお呼びするのが市ヶ尾中学校の特徴です。みんなには様々な生き方をしている大人たちのオーラを感じて欲しい。そして、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現してほしい。

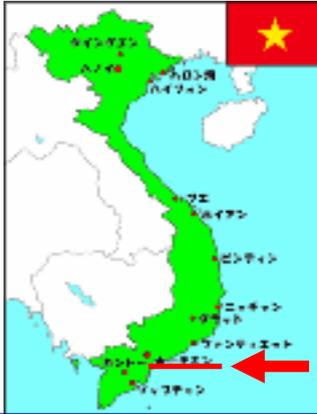


博報財団主催「海外体験プログラム」で中学生4人がベトナムに出発します！



「海外体験プログラム」でベトナムへ行く4人

博報財団主催「日本児童海外体験プログラム」に、全国の中学校4校が選ばれ、そのうち1校は市ヶ尾中学校となりました。そして、いよいよ4月26日～5月4日の9日間、4人と第2学年主任の鈴木晃一先生がベトナムに招聘生として出発します。



ベトナムではホーチミンのビンタン中学校訪問（なんと生徒全員が日本語を第二外国語として学んでいるそうです！）や現地の工場見学などをする予定です。
 中学生として、是非帰国後、みんなにいろんな土産話を持って帰ってきてほしいと思います。いってらっしゃい～！

7・8組「スウェーデン発・ユニバーサルな楽器で演奏会」 ブンネジャパン



スウェーデン大使館からブンネメソッドを使った楽器の演奏会に来てくださいました。スウェーデンというと、医療と福祉の国・・・ブンネという人によって考案されたこの楽器は、小さな子どもからお年寄りまで、誰でも簡単に演奏できるユニバーサルな楽器です。音楽教育家・音楽療法士でもあり、スウェーデン文化庁長官だったブンネさんという方によって考案されたそうです。

2・3分でみんなも演奏ができるようになりました。
 ギターやフルート、トーンチャイムのような楽器なのですが、実際の音色は本当にやさしく美しいもの・・・生徒のみんなも、あっという間に演奏できるようになって、地域の方と生徒たちが一緒に演奏をして、「シャボン玉」「ふるさと」などを楽器に合わせて歌い楽しい時間となりました。この日は、町内会長さんや民生委員の方々など、地域の方々も10人ほどお越しいただき、すばらしい交流にもなりました。わざわざお越しいただきました地域の方と、ブンネジャパンのカウトさん(来日して10年。日本語がすごくお上手でした。)と藤林さんには、本当に感謝します。



ブンネの楽器たち

祝！ご入学・191名の新入生



4月7日、191名の新入生を迎え、たくさんの来賓や保護者の方々が見守る中、入学式を開催いたしました。約3週間経ち、やっと中学校に慣れてきてくれたかな？何かあったら、どんな小さなことでもいいので、担任の先生や学年の先生などにどんどん相談してください。

←在校生による市ヶ尾中学校歌披露

離任式「先生方、本当にお世話になりました！」

春は出会いの季節でもあります。また別れの季節でもあります。4月8日に、ご退職・ご転出の先生方の離任式をしました。在校生のみなさんや現教職員、たくさんの卒業生・保護者・地域の方々に見送られました。新天地でもご活躍をお祈りしております。本当にお世話になりました！

離任式でご挨拶をいただく→



第1回学校運営協議会開催



学校経営の辛口の友人的存在&最大の応援団・学校運営協議会

今年度第1回目の学校運営協議会が開催されました。委員は、地域(町内会・児童主任委員・ボランティアコーディネーター)、小学校の校長先生、市ヶ尾中教職員と、外部有識者の方々15名で構成されます。地域の思いを反映した開かれた学校づくりを目指します。

感謝☆地域のみなさまから垂れ幕プレゼント



正門横にただ今掲示中

荏田西連合自治会・中市ヶ尾自治会・下市ヶ尾町内会の方から、校門横に横断幕のプレゼントをいただきました。「学校が元気になると、地域も元気になる！やっぱりそれを地域の人たちがわかる形で広報していかないと！」というご主旨で進呈いただきました。ありがとうございました。

朝学習開始・合唱コンクール時期変更のお知らせ

今年度より、基礎学力の定着を目的として朝学習を開始しました。朝10分、集中することにより1時間目からより一層学習への取り組み状況がよくなったように思います。また、合唱コンクールにつきましては、他校では行事精選の流れが強い中、旧一学期の子どもたちへの負担解消のため3月に開催いたします。なお3年生につきましては特別時間割を活用して練習時間といたします。ご理解のほどお願いいたします。

2014/6/30

横浜市立市ヶ尾中学校 学校だより Vol. 55

市ヶ尾中Times

7月号

ほぼ毎日更新！→<http://www.cms-school.jp/ichigao>

ID「ichigao」 パスワード「jiritsukoken」

<学校教育理念>

自立貢献

～Live your dreams～

夢を生きよう

発行者：校長 平川理恵

市ヶ尾中 Tel 045-973-3400

英語嫌いだった私

校長 平川理恵

ワールドカップも日本敗退。みなさんもがっかりしている今日この頃ではないでしょうか？以前、市ヶ尾中学校に来てくれた川島永嗣選手も頑張っていたのに…本当に残念です。



ハーバード大学・クロコディオロス↑

さて、こここのところ、ハーバード大学のクロコディオロスや元国境なき医師団の知名仁子医師が来ていただいたりと、グローバルな市ヶ尾中学校ですが・・・皆さん英語の勉強って好きですか？実は、何を隠そう、私自身中学生の時、英語は大の苦手でした。大学進学の時、英語が嫌いだから国文学専攻と、かなり消極的な選択もしたくらいです。今では、英語を話すことが全く苦にならなくなりましたが、恥を忍んで私の体験をお話しさせていただきます。

中学生の時、英語は3以上取ったことがありませんでした。何故って？それはなぜ英語を勉強しなければならないかわからなかったからです。21歳で初めて海外に行った時、「へ～。こんな世界は広いんだ。」と思いました。それから、リクルートという会社で企業の採用のお手伝いをする仕事を始めて、1994年頃から世の中の会社が「国際化だ！」と叫び始めた時に「国際人を採用したい」と企業の人事担当者や社長から相談されても、国際人ってどう言う人かわからなかった私は、留学を決意しました。27歳の時です。そこから、英語の勉強を始めました。始めるにあたってやったことは、まず「こたつを捨てる」「テレビを裏向けにする」「会社のスキー部を辞めて勉強時間を確保する」でした。何事も、「いつやるの？いまでしょ～！」で、始めるための第一歩のアクションが大切です。それから、3年後、アメリカの大学院に留学することになりましたが、読み書きはなんとかできて、行った当初は「話す・聞く」はダメでした。サンドイッチのサブウェイで注文をしても全く通じなくてショックを受けました。それでも、考えてみると、勉強にしても、仕事にしても、読み書きが一番重要です。現地にいると、そのうち、聞けるようになりましたし、話せるようになりました。

英語は 2000時間やればできるようになるといわれています。でも、中高生で英語の授業時間って約1000時間しか確保できていません。中高生で学んだことを基礎として、さらに倍くらいの時間をかけると、必ず！英語はできるようになります！そして大切なことは、今、皆さんが授業でやっている単語を覚えたり文法をしっかり体得することです。単語がわからないと、英語で話もできないし聞けません。場数が大事！どんどん自分の興味関心のある分野で英語を使っていってもらえると嬉しいです。

英語は世界を広げてくれます。「好きこそものの上手なれ」でやってみませんか？



おジャマします。授業拝見 & お仕事拝見。

へんなたとえかかもしれませんが、学校の主力商品は授業。私（平川）も、授業を見学させてもらっています。今回は、この4月に着任されたお二人の先生をご紹介します。

理科・清田敏光先生

3年3組の清田先生の授業におジャマしました。3年生は「いろいろなエネルギーとその移り変わり」という単元で、今日は「エネルギーの変換を体験しよう」の実験です。手回し発電機をプロペラ付モーターなどと回路でつなぎます。手回しを右回しするとどうなるか？また逆に回すとどうなるか？また、太陽電池でオルゴールを聴いてみたりもします。電気エネルギーはそれぞれ何エネルギーに変換されたのか？などを体験していきます。実験前の予想、また実験後の考察もグループごとに話し合いながら行っていきます。皆よく話し合っています！最後に水酸化ナトリウムの電気分解の実験です。「車もこの原理で動く時代なんだ。」と日常の中で理科があることを気付かせてくれます。



3年副担任：清田敏光先生



グループで実験↑

清田先生は、昼休みもグラウンドで生徒と一緒にボール遊びをしてくれています。また、教育実習の時から続けているのは、朝のモップ掃除。安全管理の観点と、部活の朝練で来る生徒たちに声かけができることが目的だそうです。それらは「子どもたちと近いところにいたい」という信念からだそうです。

頑張れ！清田先生！

理科・仁昌寺寿弥先生

1年3組の理科におジャマしました。植物の中でも「コケ植物」の学習中でした。光合成する、葉緑体がある、葉・茎・根の区別はなく維管束はない・・・など、植物の特徴を確認していきます。そして胞子で増える・・・という部分で、VTRをみて、胞子によりどう増えるかを確認します。「きもーい」「うわーすごーい」生徒たちの反応は様々でした。私自身、ミクロの世界は本当に不思議だな、と思いました。



1-3担任：仁昌寺（にしょうじ）先生↑

仁昌寺先生自身、「謎を解くのが好き」な中学生だったそうです。その、謎を解く基本的なことは理科という教科からヒントが得られるのだそうです。「疑問に思ったことがどんどん解決するのが理科だ」とおっしゃいます。数学や体育も好きだったけど、だから理科の先生になられたそうです。そして横浜市内の中学生の時に、素晴らしい担任の先生と出会い（今でもその先生は横浜市内で教員をされているそうです）、大好きだった学校で働きたい・・・当時の担任の先生のような先生を目指していきたいとのことでした。

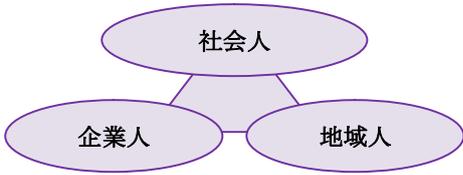


VTRでミクロの世界を観る↑

頑張れ！仁昌寺先生！

「社会と学校のかけ橋」＝キャリア教育、推進中！

通常の授業の中に、ゲストスピーカーや外部講師をお呼びするのが市ヶ尾中学校の特徴です。みんなには様々な生き方をしている大人たちのオーラを感じて欲しい。そして、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現してほしい。



1年生「ドリームマップ ～将来の夢を視覚化しよう」 ドリームマップ普及協会



ドリームマップ普及協会のボランティア講師 10 人の出前授業で、1日かけて実施。「自分の好きなもの、好きなこと」から始まり、「**年後、こんな夢を持っていたい」「こんな人たちに囲まれてこんなふうに住みたい」という夢を、ビジュアルでマップ化しました。

「お父さんの作ってくれたプリンの味が忘れられなく丹念に作られたドリームマップで…パティシエになりたい」「おばあちゃんが毎日たくさんの薬を飲んでいて大変そうなので…薬剤師になりたい。」ドリームマップ普及協会の川村理事によりますと、有名人が夢のきっかけになっている生徒もいるものの、他校に比べ、市ヶ尾中学校の生徒は夢を持つ理由に周りの大人が多かったことが特徴だとおっしゃっていました。生徒の皆さんの純粋な一言一言に、私たち大人のあり方の大切さ痛感しました！

人権特設授業「いのちと向き合う ～国際医療の現場から」医師・名知仁子先生

「お医者さん」と聞くと、病院で病気を治してくれる人、というイメージですが、名知先生の国際医師としての取り組みは医療と衛生面、また生活の自立支援活動など多岐に渡ります。



日本では助かる病気も、薬がない・衛生な水がない等の理由で亡くなっていく毎日。「ごめんなさい。日本では助けられるけど、今の私には助けることができないの。」と言った時に、

名知先生にお礼の言葉を伝える↑

「じゃあ何のためにここに来たんだ！」と怒るわけでもなく、最後におっしゃる言葉はなんと「ありがとう」だそうです。1日 300 人の患者さんと移動医療バスで、日々のいのちと向き合っている名知先生のお話に心を打たれました。そして、私たちのいのちは生かされていて、いのちは本当に大切にしなければならないと思いました。

芸術鑑賞「ハーバード大学アカペラコンサート」米ハーバード大クロコディロス



↑クロコディロスの皆さんに英語でお礼を伝えました

ハーバード大学クロコディロスが 4 年ぶりに来校しました。現役ハーバード大学学生でオーディションによって選ばれた 12 人が、アメリカの夏休みに 10 週間世界ツアーに出かけます。日本にも 10 日間ほど滞在。そのうち 1 日は市ヶ尾中に来てくれました。また、その後 5 日間にわたり、市ヶ尾中・荏田西小・東市ヶ尾小の児童生徒の自宅にホームステイされました。受け入れていただいたご家庭様、ありがとうございました。

<3年生> 課題探究学習で広島・京都へ

6月2日～4日、ぎりぎり梅雨前に広島と京都に修学旅行に行きました。広島ではお好み焼き村から始まり、平和記念公園でのボランティアガイドさんと散策、夜は19歳の時に被爆された方から壮絶な被爆体験を伺いました。京都では、班別行動に加え、京都ならではの湯豆腐、そして座禅体験と盛りだくさんでした。準備と事前学習にものすごい時間とエネルギーをかけただけあって、深く学習できたと思います。皆さんにとって一生の思い出になるに違いありません。

2日目の広島での平和集会→



<2年生> 自然教室で長野県・白樺高原へ



今年は、いままでにない活動も盛り込まれました。仲間との絆を深めることを目的としたPAA活動や、キャンプファイヤー、またカレー作りを行い、良い思い出を作ることができました。「人懐っこい2年生と3日間一緒に過ごせて本当に楽しかったです！」と引率した坂村暁副校長先生。

←チームビルディングを目的としたPAA活動

<1年生> 地域探検学習で子どもの国へ

1年生は地域探検学習として鶴見川沿いを歩き、市ヶ尾古墳から子どもの国に行きました。お天気にも恵まれ、クラスや学年が一致団結した行事となりました。

途中、鶴見川流域ネットワークの方による講義をいただきました→



6人の教育実習生が教壇に立ちました！



↑教育実習生の6人！がんばりました！

今年は6人の教育実習生が6月9日～3週間・4週間(実習生による)のスケジュールで教壇に立ちました。

ご自身が生徒でいるときと、教員でいるときとは、全く感じが違ったのではないかなと思います。大変よくがんばりました！

学校・家庭・地域連絡協議会、地区懇談会実施

6月19日、松澤孝郎青葉区連合自治会長はじめ、小中教職員・PTA・民生委員・町内会長・地域の方々…などなど約150人が一堂に会し、地区懇談会が開催されました。

また同日に学校・家庭・地域連携事業実行委員会が開催されました。



お忙しい中たくさんの方にお集まりいただきありがとうございました↑

市ヶ尾中Times

9月号

ほぼ毎日更新！ → <http://www.cms-school.jp/ichigao>

<学校教育理念>

自立貢献

～Live your dreams～

夢を生きよう

発行者：校長 平川理恵

市ヶ尾中 Tel 045-973-3400

インドで見た子どもたちの「生きる力」

校長 平川 理恵

夏休みに横浜市小中学校女性校長たち有志 8 人でインドのデリーとムンバイという都市に行ってきました。誘われた時は「え？インド！？暑そう。」と消極的だったのですが、行ってみると必死に生きている人たちのすごさと、日本とは全く違う環境にただただ驚くばかりでした。（よくお腹を壊す人がいるそうですが、一緒に行った仲間全員が大丈夫でした）

まず驚いたのは、日本では最近見ない「野犬」のみならず、少し郊外に行くと家畜ではない牛や豚やヤギなどが街中にうろろろしていたことです。牛はヒンズー教の人にとって神様で、豚はイスラム教の人にとって宗教上の理由で食べられないそうです。それから、歩道などで暮らす家族や子どもものすごくて、貧富の差がものすごく激しいことがよくわかりました。

インドでは、イスラム教の学校と、貧しい子どもたちのために NGO（非営利団体）がイスやアメリカ、日本などからの寄付金で運営している寮の付いた学校、2 校を見学しました。インドで一番暑いのは 4～5 月で、8 月は夏休みではありません。イスラム教の学校は、女子教室と男子教室によって分かれています。職員室に行くと、ブルカがたくさんかけてありました。女性の先生たちが外を歩くときは、ブルカで顔以外を隠し、学校に来ると、ブルカを脱いで授業を行うそうです。驚いたのは、数学の授業。ルートの中の因数分解をしなくてもサッと答えが出るので、どうしてかと思っていたら、インドでは九九が 2 ケタまであるそうです。16×18 なんていうのもサッと答えが出るというわけです。さすが 0(ゼロ)を発明した国ですね！また、NGO が運営している学校では、折り紙の教室を行いました。

国によって文化の違いはあっても、子どもたちはみんな元気。さまざまな環境の中でも「生きる力」をはぐくんでいるインドの子どもたちから元気をもらいました。



NGO の運営する学校で折鶴教室



イスラム教の学校で。数学を勉強中。

夏の部活動大会結果・活動記録

今年の夏、ホントに暑かったですね……。そんな中、よく頑張りました！！

野球部	市総体：ベスト 16 第 6 回全国少年軟式春季野球大会青葉区予選大会出場
男子バレーボール部	市総体：ベスト 32
女子バレーボール部	市総体出場 
バスケットボール部	<男子> 市総体出場 <女子> 市総体出場
サッカー部	市総体ベスト 32 青葉区サッカー大会（新人戦）出場
ソフトテニス部	<男子> 市総体：個人戦 桜井・細谷ペア出場 夏季青葉区大会団体 1 位 <女子> 市総体：個人戦 栗原・光木ペア出場 横浜市市民体育大会ソフトテニスジュニア 3 年生大会 栗原・光木ペアベスト 8
卓球部 	<男子> 市総体出場 <女子> 市総体 個人戦 1 位：田平、3 位：伊澤、 4 位：鳥谷、5 位：大郷、6 位：岩原、7 位：稲垣、8 位：宮澤
バドミントン部 	<男子> 市総体：団体ベスト 32、飯田、竹部・高橋ペア出場 区大会：飯田 3 位、竹部・高橋 3 位 <女子> 市総体：団体ベスト 8、 県大会：団体ベスト 16 板垣・森本ペア市大会ベスト 8、県大会：ベスト 16 区大会：中村梨 3 位、市大会出場
吹奏楽部	横浜吹奏楽コンクール A 部門 銀賞 サマーコンサート開催、 つたのは学園演奏 
美術部	東京国立近代美術館訪問、文化祭に向けての個人制作、 ポスターコンクールに向けての作品制作 横浜市美術部作品展入賞：22 人参加
パソコン部	パソコン検定 準 2・3・4 級受験 プレゼンテーションソフトの使い方練習



<博報財団>海外5か国の中学生が体験入学

博報財団「世界の子ども日本語ネットワーク推進事業」により、今年5月に4人の生徒がベトナムの中学校に短期留学に行きましたが、今度はインドネシア・スリランカ・トルコ・マレーシア・ロシアの日本語を学ぶ中学生が日本語教師と共に25人来日。

市ヶ尾中学校の生徒20人と千葉県市川学園の生徒20人、そして海外生徒たちで、2泊3日の異文化体験プログラム@富士山で交流をしました。

週末には、1泊2日で生徒宅にホームステイ。吹奏楽部のサマーコンサート@青葉公会堂にいっしょに行ったり、荏田西ふるさと祭りに浴衣を着せてもらって日本のお祭りを楽しんだりしました。24日のお別れのときは、送りに来た家族に「お父さん、お母さん、2日間お世話になりました。」と1人ずつあいさつ。涙なみだ・・・の別れになりました。

そして、8月26日(火)には市ヶ尾中学校に1日体験入学。歓迎会では、海外生徒が日本語で学校紹介のプレゼンテーションをしてくれました。「私たちの学校は毎日制服が変わります。これは月曜日の制服、火曜日の制服、水曜日の・・・。なぜなら、暑いので毎日洗濯をします。」という違いにびっくりしました。吹奏楽部の素晴らしい演奏に、海外の先生たちから「日本の先生たちは部活の指導までなさってすごい！」と驚かれました。

8月28日(木)の午後には、新横浜プリンスホテルで、市ヶ尾中・市川中・海外生徒・各学校の保護者なども来て、サヨナラパーティ。ここでも、抱き合ったり、握手するなど、涙なみだの名残惜しい別れとなりました。

ベトナムに始まり、海外生徒が来日というプログラム全て、博報財団のご支援で行われました。子どもたちにとって素晴らしい交流となり、生涯忘れられないものになったに違いありません。



富士山のふもとで2泊3日の異文化交流合宿



一緒に授業を受ける。こちらは国語の授業。



生徒宅にホームステイ



荏田西ふるさとまつりに参加



歓迎会で市山先生&園山先生

<海外生徒日本体験プログラム>

インドネシア・スリランカ・トルコ・マレーシア・ロシアから日本語を学ぶ20名の生徒が来日!

- ・8/18(月)-20(水) 市ヶ尾中・市川中から20名ずつの生徒と、海外生徒とで、富士山合宿
- ・8/23(土)-24(日) 8名の生徒の家にホームステイ
- ・8/26(火) 市ヶ尾中学校に1日体験入学
- ・8/28(木) 放課後、バスが迎えに来てくれ、新横浜のホテルでサヨナラパーティ

*次回、市ヶ尾中の生徒たちの感想を学校便りでご紹介いたします

広島への修学旅行に向け平和学習登校



↑ 広島平和記念式典にテレビ参加

69年前の1945年8月6日、広島に原子爆弾が投下され、多くの尊い命が奪われました。8月6日(水)は全学年が早朝の8時前に登校し、広島平和記念式典にテレビ参加をしました。特に、3年生にとっては、5月の広島への修学旅行も含めた平和学習集大成となりました。

地域のお祭りに参加しました

東口商栄会盆踊り@西友駐車場、下市ケ尾盆踊り@下根公園、荇田西ふるさと祭り@荇田西小学校校庭にて、市中生たちが参加しました。ゼリーや飲み物の販売、綿菓子づくりのお手伝いなど大活躍でした。まさに、市中の教育理念「自立貢献」の「貢献」ですね！ボランティアの皆さん、おつかれさまでした。また、地域の皆さまにおかれましては大変お世話になりました。



荇田西ふるさと祭りで青少年指導員の皆様に指導いただきボランティア↑

横浜市つたのは学園・子育てふれあい広場でボランティア

8月1日(金)に、福祉委員会と吹奏楽部のメンバーが、長津田にある障害者支援施設・横浜市つたのは学園でボランティアをしました。吹奏楽部の演奏や、福祉委員とのゲームなど、楽しい交流となりました。楽器運搬にご尽力頂きました保護者の皆様、ありがとうございました。



福祉委員と吹奏楽部がボランティア

また、同日、地域の町内会館で毎月第一金曜日の午前中に行われている「子育てふれあい広場」に女子バレーボール部のメンバーが参加しました。さまざまご準備頂きました地域の方々、お世話になりました。

小中3校合同☆教職員向け研修実施



小中合同研修会で熱心に討論

8月25(月)の午後、荇田西小学校・東市ケ尾小学校・市ケ尾中学校の教職員全員が一堂に会し、小中合同研修が開催されました。3校は横浜市より中高一貫キャリア教育推進ブロックとして指定されていますが、小中合同の担当教科ごとに分かれ、「9年間を見通してどのような力をどうやって身に付けさせたいか？」という話し合いを具体的に行いました。3校は授業を相互研究していますが、こうやって時間をしっかり取って話し合うことはとても重要なことだと思います。

この度、『あなたの子どもが自立した大人になるために』(世界文化社)という本を上梓することとなりました。民間より学校に入り、保護者・地域の皆様よりご支援いただき何とかここまでやってきましたことを感謝いたします。なにぶん拙い文章と、偏った見方もあろうかと思えます。今後とも何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。(平川 輝)

2014/9/30

横浜市立市ヶ尾中学校 学校だより Vol. 57

市ヶ尾中Times

10月号

ほぼ毎日更新! →<http://www.cms-school.jp/ichigao>

<学校教育理念>

自立貢献

~Live your dreams~

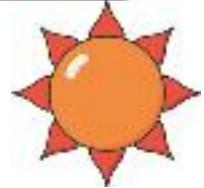
夢を生きよう

発行者: 校長 平川理恵

市ヶ尾中 Tel 045-973-3400

おてんとうさまが見ている

校長 平川理恵



「私ね、毎朝 6 時過ぎに健康のために歩いているんだけど、朝早くに学校に行かれて、途中公園でゴミを拾っていかれる市ヶ尾中学校の先生がいらっしゃるのよ。すごいことだわ〜」と、地域の方から、こんなお話をうかがいました。

某先生のことかなとご本人にお伝えしたところ、「あ、見られてましたか! あはは。」某先生は、ヒロタ新聞さんが無料で下さる新聞を職員室前の廊下に広げてくださいたり、みんなの通学路が安全かどうかを確認してくださいたりもしています。特に、そうしてくださいと他の人から言われるわけでもないのに、自分からです。公園のゴミのことは、私も知りませんでしたので、誰に見られてなくても自発的に善いことをするのは、素晴らしいことだなと思いました。

某先生だけではありません。こうやって、皆さんの通っている市ヶ尾中学校の先生たちは、自分の仕事の範疇を飛び越えて、皆が生徒のためによいと思うことを自発的に行ってくださいています。なかには縁の下の力持ち的なお仕事もたくさんあります。

先生たちばかりではありません。先日 9 月 20 日 (土) 行われた「わくわく交流会」は、地域の方が先生となって 23 講座も開いてくださいました。おかげで全校生徒の皆さんは、普段学校の教育活動ではなかなか体験できないことを体験させていただきました。この「わくわく交流会」も 18 年目になるそうです。講座の当日のみならず、長い時間をかけてご準備いただいた地域の皆さんや先生たちのおかげだと本当に感謝いたします。

このように、私たちは本当にたくさんの人たちに支えられて安心安全な生活が送れているんだなあと思うことが多々あります。生徒の皆さんは、逆に、大人に元気を与えてくれているといっても過言ではありません。生徒の皆さんのまっすぐな頑張りや、若い力は大人にとって将来の希望でもあり勇気を与えてくれます。

「人」という文字を思い浮かべてください。「ノ」と「人」というまるで人のような形をした文字がお互い支え合っている。それが「人(ひと)」という文字だと聞いたことがあります。また「人はひとりでは生きていけない」とか、「人は関係性の中で生きていく」という言葉も有名です。私自身、本当にいろいろな人に支えられていて、毎日が感謝だなあと思います。

某先生のように、誰にも見られていないところでも善いことができ、後ろめたいことをしない、私もそんな人間でありたいです。昔の人は「おてんとうさまがみている」と言う表現をしましたが、よく言ったものだなあこの言葉にも感動します。



おジャマします。授業拝見 & お仕事拝見。

へんなたとえかかもしれません、学校の主力商品は授業。私（平川）も、授業を見学させてもらっています。

数学科・増田幸生先生



2-4 担任：増田先生

2年生の数学の授業におジャマしました。2年生は「いろいろな方程式」の学習をしています。 $x+2y-2=0$ を $y=...$ の形式に直して、グラフを描いていきます。 $x=0$ や $y=0$ を代入して2点を探す方法もあります。

増田先生は、とにかく机間巡視が多いなと感じました。生徒と生徒の間をぐるぐる回り、できているかできていないかを確認したり、また質問も同時に受け付けます。そして、生徒同士の学び合いも大いに推奨します。数学が得意な生徒もそうでない生徒も、みんな楽しく学んでいる感じがしました。

また、実物投影機を使って、生徒のノートを大きなテレビに映し出すことにより、先生が描く時間が短縮できたり、わかりやすく説明を心かけているんだなとも感じました。

増田先生に数学によって生徒に身に着けてほしい力は何ですか？と聞いてみました。「“考える力”です。人生で問題にあたった時に、こうすれば解決できるかな？と解決方法を自分で考えられる・・・与えられないものを自分で見つけ出して、こうすれば解決できるんだという糸口を見つけてほしい。」と増田先生。



机間巡視を多く設け、個々の生徒に寄り添う↑

学校司書・駒木広美先生

市ヶ尾中学校の図書室は昼休みに100人以上もの来場者があるという人気スポット。去年10月、横浜市の全小中学校に司書が配置されるとの発表がありましたが、駒木先生は第一期生として配属されました。

学校司書の仕事とは、いろんなことを知りたいという人の本探しのお手伝いをしたり、教科の先生の調べ学習の補助をしたりします。また、単元や季節に合わせて生徒の皆さんの興味関心が高まるよう図書室をディスプレイしたりします。「生徒たちがどんな本に興味があって、どんな本を置けば、知の探究が始まっていくのか・・・常にウォッチを心掛けている」とおっしゃいます。ちなみに市中生の今のブームを聞くと、ちょっと前までは“哲学”に興味がある子が多かったけど、最近は「パーシー・ジャクソン」や「ニコラフラメル」などのファンタジーが再燃しているとのこと。



司書：駒木広美先生



↑単元に合わせ陳列

これまで、印刷会社の営業のお仕事などをやってこられたそうですが、小学校の卒業アルバムを見ると「将来は図書館の人」と書いてあったそうです。「小学生の頃から本が好きで、本に囲まれて仕事をしたかったんでしょうね。小学生の頃の夢がかなったという感じです。」と駒木先生。中学生は変化のスピードが速く、なかなか追いついていけないとご謙遜のご本人ですが、子どもたちの知の探究をどこまでも応援するべく、頑張ってください！